

尖閣列島訪問記

(二)

卵と鳥で島は一ぱい

農林省(前八重山高農校長)

高良 鐵 夫

せんそり前はウミドリが足の
入ればもないほどにふえ、お
どろかせてやると一せいにと
び立つて空をおよい、くその

雨がふるありさま、またステ
ツキを一ふりするとかならず

二、三羽はおちたという尖閣
列島のトリ鳥………

南小島
北小島

南小島は海抜つ一五
〇メートル、まわり三
五キロ、北小島は海抜
つ一三〇メートル、ま
わり三キロあるが、ど
ちらも海中からぬつと
つき出た岩の島で木は
ない、小説にあるお
かが島//や//がんくつ

王//のすんでいるよう
な島ににている、この
島はふつうトリ鳥とい
っているが、アジサシ
アホウドリ、カツオド
リなどのウミトリがじ
つに多く、タゴと魚
で島が一ぱいになつて
いる

息もとまると
ほどだ
火をたいていると夜

どうしなくのでねつか
れない、また風しもに
船をとめると、くその
においで息もとまつて
しまいそうになるほど
だと言われているが、

A 魚釣島 B 黄尾島
C 南小島 D 北小島



終戦後りようしによつ
てめちやくちやにとり
つくされたので、その
数がへりつゝある
この列島のまわりで

はウミドリと魚の食う
かくわれるかのものす
ごい生存競争が手にと
るように見られる

黄尾島

こうびとう

黄尾島は米軍政府か
ら永久きけん地区にさ
だめられていて上陸す
ることはできなかつた
この尖閣列島は動物
や植物の分布のようす
を知り、またその生活
のようすを研究するの
にたいせつな場所とな
っている、また魚のと
れぐあいやその種類か
ら見て冬の漁場として
のねうちが高いように
思われる、一方ウミド
リをみだりにとらない
ようにし、たくさんふ
えるように保護してや
ること、鳥のくそを
利用することを考えな
ければならない

1950.9.16
う(4)